『母語・継承語・バイリンガル教育（MHB）研究』第17号　投稿規定

### 『母語・継承語・バイリンガル教育（MHB）研究』第17号「文化的言語的に多様な子ども（CLD児）の言語能力評価と教育」への投稿を募集いたします。特集テーマ、および、MHB学会が取り組んでいる研究領域に関する論文・報告を以下の要領で募集します。ふるってご応募ください。

**投稿締切**：2020年8月31日（月）正午（東京時間：UTC+9）必着

**投稿資格**：投稿は会員(一般会員と学生会員)に限ります。非会員の場合はMHB学会ウェブサイト https://mhb.jp/admission の「入会案内」にある説明に従い、入会手続きをおとりください。

**内容**：MHB学会の対象領域（学会会則 https://mhb.jp/kaisoku 参照）に関するオリジナルな研究。原稿は未発表のものに限ります。

**\*学会会則より抜粋転載**

**【対象領域】**
バイリンガル教育を必要とする幼児・児童・生徒・およびその他の学習者の言語教育を対象とする。
当面、具体的には以下の領域を含む。

|  |
| --- |
| 　　１. 継承語としての日本語教育 |
| 　　２. ろう･難聴児のためのバイリンガル教育 |
| 　　３. 先住･定住･新来児童生徒の母語･継承語･バイリンガル教育（日本語教育を含む） |
| 　　４. 帰国児童生徒、国際学校･外国人学校児童生徒のための母語･継承語･バイリンガル教育 |
| 　　５. 複数言語育成を目指した各種言語教育（日本の英語教育を含む） |
| 　　６. その他（例：評価方法、研究方法、データベースなど） |

**論文カテゴリー**：『母語・継承語・バイリンガル教育（MHB）研究』における区分カテゴリーは、「研究論文」「調査・実践報告」「研究ノート」の３つです。カテゴリーの定義は以下の通りです。

* 研究論文：先行研究に加えるべき独自の研究成果が、具体的なデータを用いて明確に述べられているもの。
* 調査・実践報告：言語データ、史的資料、教育の現状分析、意識調査など、資料的価値が認められる報告が明確に記述されているもの。あるいは、教育現場における実践の内容を具体的、かつ明示的に描き、その結果について整理したもの。
* 研究ノート：萌芽的研究課題を提起し、更なる展開が予想されるもの。

**＜査読について＞**

　いずれのカテゴリーの論文も、MHB学会が取り組んでいる研究領域との関連性、研究目的の明確さ、研究の独自性、分析・考察の実証性および論理性を重視して査読がなされます。研究ノートについても、最低限の先行研究を提示し、萌芽的研究に相応しい分析方法を求めます。

**論文の書式**：必ずテンプレートをダウンロードして使用してください。

* + 用紙　B5判 横書きワープロ原稿
	+ 余白　上下左右28mm
	+ 字詰め　37字（字送り9.65pt）×31行（行送り18pt）

**論文の長さ**：研究論文、調査・実践報告 20枚以内、研究ノート15枚以内

**使用言語**：日本語あるいは英語。ただし、例示のために他言語の単語などを含むことは可能です。

**投稿方法**：MHB学会HP の紀要17号投稿募集（https://mhb.jp/archives/1585 ）から、テンプレート、書式説明、別紙をダウンロードしてください。書式説明を読んだ上で、①論文原稿（必ずテンプレートを使用、WordファイルとPDFファイル）と②別紙を作成し、Ｅメールに添付して下記担当者に送信してください。メールの件名は「MHB17号投稿原稿」とし、ファイル名は以下のようにしてください（執筆者名の部分は筆頭執筆者の姓のみを大文字で）。

①論文原稿ファイル名　YUKAWA\_MHB17.docx / YUKAWA\_MHB17.pdf

②別紙ファイル名　YUKAWA\_Besshi.docx

**＜注意事項＞**

* 論文原稿はWordファイルとPDFで作成してください。
* 論文原稿には、執筆者名や所属機関名など、執筆者が特定できるような情報や連絡先などは書かないでください。
* 研究倫理については、執筆者の所属機関の倫理規定を順守してください。

**採否**：編集委員会が審査の上、採否を決定し、一次審査の結果を11月末までにお知らせします。

* + 掲載決定論文につきましては、和文原稿の場合は和文要旨と英文要旨・氏名・所属機関名、英文原稿の場合は和文要旨と英文要旨・片仮名書き氏名・所属機関名を加えたWordファイルとPDFの提出をお願いします。
	+ 修正をお願いする場合もあります。
	+ 採用となった執筆者には、掲載号がダウンロードできるMHB学会ウェブサイト内の会員専用ページのパスワードをお知らせします。

**公刊**：『母語・継承語・バイリンガル教育（MHB）研究』は第15号より基本的に電子媒体での公刊となりました。

* + 採択された論文は電子化され、以下のようなウェブサイトに掲載され、順次公開されることになります。本紀要への投稿は、論文の電子化と一般公開についてご承知・ご了解を得たものとみなします。
1. 刊行直後の『母語・継承語・バイリンガル教育（MHB）研究』はMHB学会ウェブサイト内の会員専用ページでダウンロードできます。
2. 刊行後１年が経過した『母語・継承語・バイリンガル教育（MHB）研究』は、学会ウェブサイトから非会員の方もダウンロードできるようになります。また、大阪大学のKnowledge Archiveでもダウンロードできるようになり、機関リポジトリへも公開されます。
	* 『母語・継承語・バイリンガル教育（MHB）研究』は第15号より基本的に電子媒体での公刊となりました。学会事務局では15号以前の全ての号について紙媒体での冊子の販売取扱いは行いません。

**送付先**：MHB学会理事（紀要編集）　佐野愛子

　　　　Ｅメールアドレス：mhb17.editorial.board@gmail.com

 メール件名に「MHB17号投稿原稿」とお書きください。

**問い合わせ先**：佐野愛子

　　　　　　　Eメールアドレス：mhb17.editorial.board@gmail.com